

子宮頸がんワクチンについて

2011年9月15日より、新しいタイプの子宮頸がんワクチン(商品名:ガーダシル)が、公費で接種可能となりました。

以下に、既に使用されている子宮頸がんワクチン(サーバリックス)との違いを表にしてあります。

項目	サーバリックス	ガーダシル
予防できるHPVの型	2価 HPV16:18	4価 HPV6:11:16:18
効能・効果	ヒトパピローマウイルス 16、18 型感染に起因する以下の疾患の予防 ・子宮頸癌(扁平上皮細胞癌、腺癌) ・その前駆病変 子宮頸部上皮内腫瘍 2、3	ヒトパピローマウイルス 6、11、16、18 型感染に起因する以下の疾患の予防 ・子宮頸癌(扁平上皮細胞癌、腺癌) ・その前駆病変 子宮頸部上皮内腫瘍 1、2、3 上皮内癌 ・外陰上皮内腫瘍 1、2、3 ・膣上皮内腫瘍 1、2、3 ・尖圭コンジローマ
接種スケジュール	初回、1ヶ月後、6ヶ月後	初回、2ヶ月後、6ヶ月後
発症予防効果	現在のところ双方に差はない	
副作用(疼痛)	99.00%	82.70%
副作用(発赤)	88.20%	32.60%
副作用(腫脹)	78.80%	28.30%
発売会社	GSK	MSD
カスタマーケアセンター	0120-561-007	0120-024-961

大まかな違いは、

- 1、**ガーダシルの方が、予防できるHPVの型が多く、尖圭コンジローマも予防できる**
- 2、**子宮頸がんの発症予防効果には、現在のところ両者差はない**
の2点です。

当院では、子宮頸がんワクチンの一番重要な効果である発症予防効果に差が見られないことから、どちらのワクチンも接種をお勧めしております。